市政報告 Vol.15

長崎市議会議員
平野（ひらの） 剛（つよし）

～令和5年 6月議会を終えて～

前略
今任期(４期目)初となる議会が、去る6月開催されました。
一般質問の登壇し、市政に対し提言＆質問を致しましたので、主だった項目の概略をご報告致します。ご一読頂ければ幸いです。

草々

主な質問内容

1. 人口流出対策について

1 家賃が安い街づくり

ア、中心市街地の容積率の緩和について
イ、平和公園地区の高さ制限の緩和について
ウ、市営住宅の今後の在り方について

2 奨学金の返還支援

ア、仮称『おかえり長崎支援金』の創設について

2. 水産振興策について

(1)仮称『お魚センター＆屋台村』の設置
(2)長崎大学水産学部との連携
(3)陸上養殖の推進

3. 経済振興策について

(1)長崎駅隣接の保留地の活用
(2)長崎港元船地区整備構想における土地活用
(3)新公会堂(新たな文化施設)の建設場所

皆さんの声でこんな仕事もしています！

次ページより、質問の趣旨と長崎市の回答、及び成果を報告致します。※一般質問の様子を、YouTubeでご覧になれます。

長崎市議会　一般質問　令和5年　平野剛

からもご覧になれます。
「Yahoo!」や「Google」から検索下さい。

〈全国人口流出ランキング〉

日本人転出超過数の上位の状況（特別区を除く市町村の順位）　（単位：人）

	H30（2018年）	R1（2019年）	R2（2020年）	R3（2021年）	R4（2022年）
1位	長崎市（▲2,376）	長崎市（▲2,772）	豊田市（▲2,428）	広島市（▲2,230）	京都市（▲2,285）
2位	北九州市（▲1,674）	豊田市（▲1,959）	長崎市（▲2,025）	長崎市（▲2,194）	長崎市（▲2,284）
3位	那覇市（▲1,636）	北九州市（▲1,605）	呉市（▲1,862）	豊田市（▲2,100）	豊田市（▲2,185）
4位	堺市（▲1,522）	呉市（▲1,599）	佐世保市（▲1,784）	京都市（▲2,007）	北九州市（▲2,008）
5位	神戸市（▲1,520）	堺市（▲1,514）	京都市（▲1,617）	呉市（▲1,902）	神戸市（▲1,955）

平成30年 ワースト１位
令和元年 ワースト１位
令和２年 ワースト２位
令和３年 ワースト２位
令和４年 ワースト２位

この５年間を合計　＝　**日本一人口が流出している街。**

という結果。

悪く言うと、**『日本一住むには適さない街。』**

という見方もできます。

一体どうしてこうなったのでしょう？

私が若い時分は、
『東京は遊びに行く所で、住むとこじゃなか！』　とよく聞いていたものですが、

今や東京が住む所で、
『長崎は観光で行く所で、住むとこじゃなか！』　って事なのでしょうか？

しかし現実です。

〈今回の一般質問のテーマは、〉

○長崎に住むメリットを如何に提供できるか？
○どうやって雇用を生むか？
○何があれば住んで楽しいと思ってもらえるのか？

を論点に、大きく５項目について質問＆提言しました。

1 人口流出対策について

1 家賃が安い街づくり

ア、中心市街地の容積率の緩和

人口がどんどん流出している長崎市において、
長崎に住むメリットを作っていく必要があります。

逆に、デメリットをなくしていく事も必要。
その**デメリットの１つに挙げられるのが、長崎の家賃価格**

『便利な平地に住みたい。』
という高まるニーズに対し、限られた土地しかない長崎市中心部の価格は、
今や福岡や名古屋よりも高くなっている現状です。

≪この対策には≫
『ニーズに応じた物件の供給量を増やす政策』
が必要です。

≪よって≫
容積率を緩和し、空中を高度利用していく政策を進めるべき。
とかねてより提言しております。

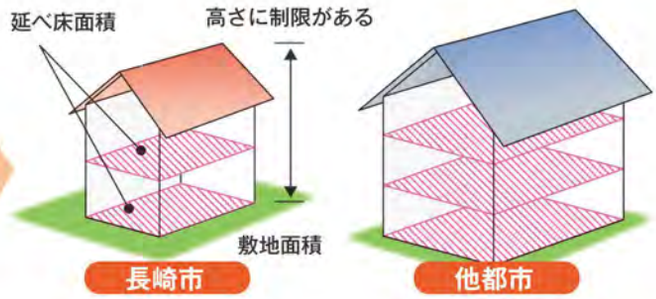
☞ 次ページへ

平野 剛　市政報告

※豆知識
　容積率とは、

容　積　率

$$= \frac{\text{延べ床面積}}{\text{敷地面積}}$$



都会に収入ではかなわない長崎は、
せめて『生活コストは安い街。』とならなければ、
人口流出は避けられません。

そこで、

長崎市に提言

長崎の高い家賃を、容積率をさらに緩和する事で、
『家賃が安い街づくり』を図っていくべきでは？

と提言しました。

長崎市の回答

周辺の環境に与える影響を考えつつ、**土地の高度利用を計り、**
街の賑わいをもたらしつつ、**住宅価格の低減につなげていきたい。**

との回答を得ました。

長崎市に提言

旧県庁から旧市役所の通り（国道 34 号線）や、浜の町から銅座川周辺。
長崎駅周辺やスタジアムシティから浦上駅周辺。
長崎大学から住吉周辺など、
便利な平地は、高度利用化を積極的にはかっていくべき。

と提言致しました。

イ、平和公園地区の高さ制限の緩和について

『守るべき景観は守っていく。』という事を**前提**での提案です。

現在の高さ制限（商店街地区＝21 メートル）が、

❶地区の状況と時代が求めている事に、マッチしているのか？

❷街の進化を阻んでいないか？

という疑問があります。

長崎市へ提言

時代が求めるニーズを把握し、21 メートルの規制が適正なのか？

再検証を求めました。

長崎市の回答

平和町商店街の空き店舗や建物の老朽度の調査、及び、

高さの検証シミュレーションを行っている。

環境の変化を踏まえながら、**地域の状況に応じた見直しを検討していきたい。**

との回答を得ました。

ウ、市営住宅の今後の在り方について

容積率と高さ制限の緩和は、民間の住宅供給についての対策

↓

同じような観点で、
市営住宅の供給の在り方も、時代のニーズの変化に対応していかねばと思います。

↓

そこで、
便利な所へ市営住宅の供給が出来ればベストですが、
便利な所＝土地が高い所を購入して市営住宅を新たに建てるというのは、非現実的。

↓

それならば、
市営住宅がある場所を便利にすればいい。

長崎市に提言

今後の建て替えの際に集約されて生まれる敷地内に、
コンビニや病院、薬局等を誘致して、
『車がなくても生活出来る高齢者にやさしい市営住宅』

↓

となるよう整備していったらどうか
と提案致しました。

長崎市の回答

歩いて暮らせる環境作りは大切。
今後の市営住宅の整備にあたっては、
買い物や病院が身近で済ませられるよう取り組んで参りたい。

との回答を得ました。

2 奨学金の返還支援

ア、仮称『おかえり長崎支援金』の創設について

長崎に住むメリットとして、

県外から帰って来たら、奨学金の返還支援をする制度を作れないか?

これも過去何度となく提言。

≪メリット≫

人口流出対策として、

①都会との所得差を埋め、長崎に帰ってきやすい制度
②企業が優秀な人材を確保する武器

また少子化対策の観点では、

今や学生の半分が利用している奨学金。平均400万円借りています。

この返済が、結婚や出産に影響を与えてないのか？

③結婚しやすい制度。
④出産しやすい制度。

今や36府県。615の市町村が、既に奨学金の返還支援を実施。

長崎県内でも、７市２町が実施。(２１市町中)

長崎市に提言

人口減少対策として、様々な観点から有効なのでは?

と提言致しました。

長崎市の回答

実施している他都市において、就職率に顕著な増加がみられない。

支援期間中の離職も多いなど課題も出ている事などから、

効果の程を検証していきたい。

と前向きな回答は残念ながら得られませんでした。

2 水産振興策について

1 仮称『お魚センター＆屋台村』の設置について

長崎の美味しい『お魚』や『かまぼこ』、『水産加工品』を
全国区のブランドにする取り組みは、成果が上がっているとは言えない状況。

ただそうであるからこそ、**そこに伸びしろがあると思います。**

そこで、
ブランド力を高めるとともに、売り上げも伸ばす施設として、
仮称『お魚センター』が長崎にあったがいいのでは？

また、
お魚センターに併設して、昼間から食べれて飲めての**≪屋台村≫**もあれば、
市民の皆さんはもちろん、観光客の皆さんにも喜ばれ、
消費額と雇用の拡大につながり尚の事よくないか？

長崎市に質問

お魚センターの設置に合わせ、屋台村の実現も出来ればと期待したいが、
長崎市の現在の取り組み状況と考え方をお聞きしたい。

長崎市の回答

民間企業の動きやニーズを積極的に把握し、
県とも連携しながら積極的な支援をして参りたいと考えています。

との回答を得ました。

2 長崎大学水産学部との連携について

全国でも4つしかない水産学部が長崎大学にはあり、
様々な研究・実験が行われております。

大学が持つ技術を民間に活かし、新しい産業の創出や企業誘致につなげるべき。

との意見をしてきました。

そんな中、

『長崎大学が産学官の連携プロジェクト』を始める。

とのニュースが飛び込んで来ました。

プロジェクト名は、**『ながさきブルーエコノミー』**

国の事業に採択され、本年度から10年、毎年最大２億円が出る事となりました。

【特徴】

○魚を獲って来る漁業 ➡ 稚魚を作り育てて稼ぐ漁業モデル

○沿岸養殖 ➡ 沖合養殖

○作った魚を販売する施設の建設

具体的には、
ノルウェーが世界的にサーモンで成功しているのを参考に、
ブリを『JAPANブリ』として、
長崎から、国内はもとより海外まで販売していこうというプロジェクト。

紙面編集・出口浩二　（第３種郵便物認可）　長崎

高島にブリ人工種苗センター

ながさきＢＬＵＥエコノミー

長崎大が整備 今秋にも稼働

長崎大は5日、長崎市が所有する同市高島町の「旧長崎市水産センター高島事業所」にブリの人工種苗センターを整備すると明らかにした。同大などは県内に養殖ブリの一大生産・販売拠点をつくる産学官連携プロジェクト「ながさきBLUEエコノミー」を進めている。付加価値が高く安全安心なブリの生産には人工種苗が成功の鍵を握るとされている。

長崎市高島町にブリの人工種苗センターを整備する計画などを明らかにした「ながさきBLUEエコノミー」総会＝同市元船町、サンプリエール

同プロジェクトでは人工種苗を使って環境に配慮しながら、きれいな海域で育てる完全養殖の「JAPAN鮪（ぶり）」を生産。国内だけでなく、2032年には海外での販売を目指す。プロジェクトリーダーで同大海洋未来イノベーション機構長の征矢野（そやの）清氏によると、ブリの種苗は天然が85～90％を占めており、自前の人工種苗センター整備が急務だった。同センターで卵をふ化させ、水槽で稚魚まで育てる。

高島事業所は21年3月に廃止され、市は活用法を模索していた。同大は早ければ8月ごろから改修工事を始め、10月半ばから稼働させたい意向。征矢野氏は「高島は離島だが、大学から近く、既存施設を改修することで新たに整備する場合に比べるとコストは1割程度。伊王島がリゾートアイランドだとしたら、高島は種苗センターを核としたサイエンスアイランドになる可能性がある」と話した。

同大は5日、同市内でながさきBLUEエコノミー総会を開催。会場とオンライン合わせて約140人が参加した。（山口栄治）

長崎新聞より

《『ながさきブルーエコノミー』のプロジェクトがもたらす事》

○**人工的な稚魚を生産**する
○**沖合養殖**での育成

そしてこれは、**洋上風力発電と融合**して行われる。
又、エサとなる魚を獲って魚粉にする事は、
今や魚の環境に負荷を与えるとの観点から、**魚に代わるエサの開発**が必要。

↓

海に出て魚を獲ってくる漁業から、
➡ 若者に最先端な就職先として

AI 化された漁業へと変化していく可能性があります。

↓

ここに、『新たなる産業の種』があると思います。

↓

長崎市に要望

この種を育て、この技術をどう産業につなげるか？

最先端の産業として雇用の場を創っていくんだという、
強烈な思いをもって関係部局は取り組んでいって頂きたい。

そしてこのプロジェクトは、
漁業者の商店街として、販売する施設も作るのも特徴です。

創った分を売る。売れる分だけ創る。
そしてブランド化も図る。というプロジェクトです。

∴水産農林部、商工部、観光部の縦割りを突破した取り組みが必要。

↓

この連携については、
市長のリーダーシップと的確な指示が必要なので、市長に要望した次第です。

3 陸上養殖の推進

沖合養殖は、『ながさきブルーエコノミー』プロジェクトによって、
今後、進捗がみられる事になるかと思います。

陸上養殖においても、『水産の街』として、
他都市をリードして行くくらいの取り組みが欲しいところです。

長崎市へ質問

陸上養殖に対する長崎市の考えをお尋ねしました。

長崎市の回答

漁業権などの制約がなく、場所を選ばない陸上養殖は今後拡大していくと期待。
また、魚の安定供給を図る上でもメリットを有している。
事業者のニーズをとらえながら、
事業実施に向けた支援はしっかりと行っていきたいと考えている。

との回答を得ました。

Point 場所を選ばない分、海がなくても出来る。土地さえあれば。

海からお魚が益々獲れなくなってきたら、
今後ますます、陸上養殖のニーズは高まってくる陸上養殖。

しかし、
土地と水のコストを考えた時に、長崎は都市間競争で勝てるんだろうか？

懸念するところ。

そこで、

長崎市に提言

初期投資を抑える為に、学校跡地を陸上養殖用地として、
建屋とともに有効に活用出来ないのか？

提言しました。

長崎市の回答

学校跡地の活用は、初期投資を抑えられることが出来るなど、
うまく整合すれば事業成立の可能性が高まるものと考える。

事業者のニーズを把握しながら、
学校跡地とのマッチングについての連携を取って参りたいと思います。

との回答を得ました。

長崎市へ要望

是非、そのような活用も考える中で、
陸上養殖においても他都市をリードし『水産の街ながさき』となるよう
取り組んでいく事を要望致しました。

おまけ

長崎市役所は、『さかなの町』へ引っ越しました。
（長崎市魚の町4-1）

3 経済振興策について

1 長崎駅隣接の保留地の活用について

最近よく出てくるワード『100年に一度の』という言葉通り、
長崎駅とその周辺整備により絶好の土地が長崎市に生まれました。

ピンク色の街区

この絶好の土地は、長崎に今一番必要な、
❶雇用を生む活用
❷経済発展出来る活用
を図るべきではないでしょうか？

なので、昨年から
『この土地の活用は、経済発展と雇用に資する活用を第一に考えて頂きたい。』
と提言していました。

その際の回答
『こういう土地がなければ解決できない立ち退きの代替地として
使用することを最重要としている。』
との事でした。

察するに、
駅周辺の公共事業で立ち退きとなる企業へ売却すると推測しますが、
だとしたら、
なんと勿体ない土地活用か？
と意見致しました。

また、

2 元船地区の港湾

において、
長崎港ターミナルビルを中心に、
駐車場、県所有の大波止ビルや、おくんち広場、ラゴンプロムナード
等の再整備をする話が出てきました。
この土地も、**絶好のロケーション**です。

長崎の経済発展に資する活用となるよう長崎市として、県と連携するよう求めました。

3 新公会堂(新たな文化施設)の建設場所

については、**旧長崎市役所跡地に建設する予算を鈴木新市長は見送り**ました。
今回の一度立ち止まった判断に、私は**大いに評価致したいと思います。**

理 由

①当初想定していた**建設費が大きく高騰している点。**
　　約３０億円→周辺整備まで含めると約１００億円弱
②場所の点。
　せっかく人が集まる施設なのに、
　周辺に食べる所、お茶する所、買い物する所が少ない。休日は特に。

消費と連動させていく観点がない場所選びだった点。

当時、県庁跡地での建設の話が進んでいかない中、
早く建設するには、場所の選択肢が市役所跡地しかなかった。
というような流れでした。

平野 剛　市政報告

長崎市へ要望

経済振興。お金が落ちるまちづくり。
という観点も取り入れた上で建設場所を再検討して頂きたい。

と意見致しました。

今回この項目は、
経済振興策として土地活用について質問＆提言をしました。

最後に締めの提案

として、

若者の人口流出が著しい長崎市
若者に意見聞くと、
『遊ぶとこない。買い物するとこない。オシャレなとこない。』

『何が欲しい？』って聞くと、

口揃えて **『ラウンドワン。』**

※全国見渡すと、山形、茨城、富山、福井、鳥取、島根、そして長崎の7県だけがないそうです。

長崎に何が足りてないか？
→子供・若者が喜ぶアミューズメント施設が絶対的に足りていない。
長崎市には何が足りてなくて何が必要なのか？

という観点は絶対あって欲しいと思います。

その中でも、**若者の流出をどうしたら食い止められるか？**

長崎市へ要望

この観点を強く持った上で、
例えばラウンドワンのようなアミューズメント施設の誘致をお願いしました。

皆さんの声でこんな仕事もしています！

（市民からの要望事）

2023年 若竹町危険崖

がけ崩れの懸念があるので、自治会要望にてフェンスを設置して頂きました。

2023年 3月 音無町階段整備

雨天時、階段下で側溝から水が溢れ歩道へ飛び散っているとのご相談。
側溝の一番下の部分を改良して頂きました。

2023年 5月 花園町側溝整備

雨天時、自宅車庫へ雨水が流れ込むとのご相談。
グレーチングを設置し流れ込みを防ぎました。

2023年 6月 扇町側溝整備

駐車場出入り部分において、側溝が欲しいとのご相談。
設置して頂きました。

2023年 7月 平和町側溝整備

大雨時、側溝から雨水が吹き出し、建物への出入りに支障をきたしていた為、グレーチングを設置し側溝への流れを改善してもらいました。

各種媒体でお伝えしています

いずれも「平野 剛」の検索で表示されます。
長崎や市政に関する情報を配信しておりますので
是非ご参照ください。

平野 剛　公式ホームページ

http://hirano-tsuyoshi.net

平野 剛　オフィシャルブログ

http://ameblo.jp/hirano-tsuyoshi/

平野 剛　facebook

https://www.facebook.com/tsuyoshi.hirano.92

今後とも長崎市の皆様のお役に立てるように
日々活動してまいります。

お住まいの地域や長崎市行政についての
ご質問やご相談などございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

〒850-8685 長崎市桜町 2-35

長崎市議会控室

TEL.095-829-1405
FAX.095-822-0020